(19)日本国特許庁(JP)　(12)公表特許公報(A)　(11)特許出願公表番号
特表2013-526358
(P2013-526358A)
(43)公表日　平成25年6月24日(2013.6.24)

(51)Int.Cl.		F I	テーマコード（参考）
A47J 31/46	(2006.01)	A47J 31/46	4B104
A47J 31/60	(2006.01)	A47J 31/60	

審査請求 未請求　予備審査請求 未請求　（全 14 頁）

(21)出願番号　特願2013-510632(P2013-510632)
(86)(22)出願日　平成23年5月20日(2011.5.20)
(85)翻訳文提出日　平成24年11月12日(2012.11.12)
(86)国際出願番号　PCT/EP2011/058225
(87)国際公開番号　WO2011/144722
(87)国際公開日　平成23年11月24日(2011.11.24)
(31)優先権主張番号　10163638.9
(32)優先日　平成22年5月21日(2010.5.21)
(33)優先権主張国　欧州特許庁(EP)

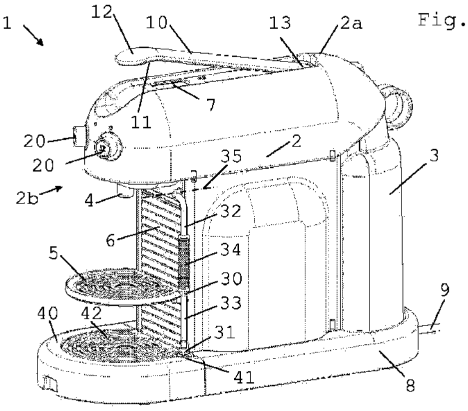
(71)出願人　599132904
ネステク　ソシエテ　アノニム
スイス国，ブベイ，アブニュー　ネスレ　５５
(74)代理人　100088155
弁理士　長谷川　芳樹
(74)代理人　100114270
弁理士　黒川　朋也
(74)代理人　100128381
弁理士　清水　義憲
(74)代理人　100107456
弁理士　池田　成人
(74)代理人　100140453
弁理士　戸津　洋介

最終頁に続く

(54)【発明の名称】収納可能な湯または蒸気の配送装置

(57)【要約】
飲料調製機（１）は、開口（４１）を備えた本体（４０）と、移動可能な排出口（３１）を備える湯及び／又は蒸気発生器とを有する。発生器及び排出口は、排出口を経て湯及び／又は蒸気を配送する為の操作上の構成と、内部で発生器の排出口（３１）が本体の開口（４１）に移動されて収容される収納機器構成とを有する。
【選択図】　図１１-３　　概略図

Fig. 1



【特許請求の範囲】
【請求項１】
飲料調製機（１）において、開口（４１）を備えた本体（４０）と、移動可能な排出口（３１）、発生器および排出口を備える湯及び／又は蒸気発生器であって、前記排出口を経て湯及び／又は蒸気を配送する為の操作機器構成を備えた前記湯及び／又は蒸気発生器と、を備え、
前記発生器が収納機器構成を有し、その内部で、前記発生器の前記排出口が前記本体の前記開口に移動されて収容されることを特徴とする、飲料調製機。
【請求項２】
前記本体（４０）は、廃液を集める為のリザーバを備え、前記本体が特に取り外し可能である、請求項１に記載の飲料調製機。
【請求項３】
前記本体（４０）により、飲料注出領域の範囲が決まる、請求項１又は２に記載の飲料調製機。
【請求項４】
前記本体（４０）は、使用者のカップ及び／又は使用者のマグを支える為の上面（４２）を備える、請求項３に記載の飲料調製機。
【請求項５】
前記本体（４０）の前記上面（４２）は、グリッド、廃液リザーバに通じる一つ以上のチャネルのような廃液を排出するための装置により形成されている、請求項４に記載の飲料調製機。
【請求項６】
前記本体（４０）は、飲料調製機（１）から突き出ているプラットフォームを形成する、請求項１～５のいずれか一項に記載の飲料調製機。
【請求項７】
前記排出口（３１）のための開口（４１）は、前記本体（４０）の上面（４２）、特に、前記上面の周辺部、又は、それに隣接して配置される、請求項６に記載の飲料調製機。
【請求項８】
前記湯及び／又は蒸気発生器は、前記排出口（３１）を支える、使用者が移動可能な管（３０）を備える、請求項１～７のいずれか一項に記載の飲料調製機。
【請求項９】
前記管（３０）は、前記操作機器構成の中に、更に、前記収納機器構成の中に、使用者により手動で移動可能である、請求項８に記載の飲料調製機。
【請求項１０】
前記管（３０）は、前記収納機器構成内で、ほぼ直立している、請求項８又は９に記載の飲料調製機。
【請求項１１】
前記管（３０）は、縦に動かすことができ、特に伸縮自在に動かせる、請求項８～１０のいずれか一項に記載の飲料調製機。
【請求項１２】
前記管（３０）は、旋回可能である、請求項８～１１のいずれか一項に記載の飲料調製機。
【請求項１３】
前記湯及び／又は蒸気発生器は、湯垢除去機器構成のような洗浄機器構成を有し、その中で、前記発生器の前記排出口（３１）は、前記本体（４０）の前記開口の中に移動されて収容される、請求項１～１２のいずれか一項に記載の飲料調製機。
【請求項１４】
前記発生器の前記排出口（３１）が前記本体（４０）内の前記開口（４１）から離れているときに湯垢除去のような洗浄を防止するように配置された制御ユニットを備える、請求項１３に記載の飲料調製機。

【請求項１５】

風味付き原料、特に、風味付き原料用カプセルを受ける為の、更に、前記風味付き原料を通して水を循環させて風味付き飲料、特にティー又はコーヒーを形成する為のモジュールのような、風味付き飲料調製モジュールを更に備える、請求項１～１４のいずれ一項に記載の飲料調製機。

【発明の詳細な説明】

【発明の分野】

【０００１】

本発明の分野は、湯及び／又は蒸気配送装置を有する飲料を調製する為の機械に関する。

【０００２】

特に、本発明の分野は、特にカプセル内部に供給された風味付き原料を通して流体を循環することにより、飲料を調製する為、湯及び／又は蒸気用排出口を有する機械に関する。

【０００３】

本発明の説明で、「飲料」は、ティー、ホットチョコレート、コールドチョコレート、ミルク、スープ、ベビーフード等のような如何なる液体食物をも含むことを意味する。「カプセル」は、材料の同封パッケージ内部の予め小分けされた飲料原料、特に、原料を含む堅いカートリッジ又は柔らかいポッドを含む、如何なる形状及び構造の、気密パッケージ（例えば、プラスチック、アルミニウム、リサイクル可能な更に／又は生物分解可能なパッケージ）を含むことを意味する。

【背景技術】

【０００４】

ミルク含有飲料、例えば、ミルク含有コーヒー、ティー、チョコレートドリンクのような飲料を製造する為の機械は、技術的に知られている。

【０００５】

技術的に知られているように、そのような飲料を製造するために、湯及び／又は蒸気を製造する為のヒータを経て水が通され、使用者のカップやマグの中へと対応パイプを経て注出されてもよい。たとえば、そのような湯の注出は、ティーを調製する為に使用可能である。熱い蒸気の注出は、ミルクの泡立て処理（すなわち、ミルクを含む容器内に熱い蒸気を注入することにより、例えば、伝統的な「バリスタ」ミルク泡立て技術を適用することにより、特に、注入された蒸気に関して容器を動かす間にミルクが加熱され、注入された蒸気の影響下で乳状化されること）に含まれる場合がある。

【０００６】

そのような湯及び／又は蒸気注出用パイプは、通常、風味付き飲料機、特にコーヒー機、例えば、カプチーノやカフェラテの調製の為に、組み込まれる場合がある。

【０００７】

例えば、ＥＰ１７６４０１４及びＥＰ１９００３１２は、湯及び／又は蒸気を注出する為の排出口を備えた水循環路を有するコーヒー機を開示する。ＥＰ０９７４８１は、蒸気用排出口及び湯用排出口を有する他の飲料調製機を開示する。

【０００８】

ＤＥ１９６１１４５０，ＥＰ０６０７７５９、ＥＰ１５０１３９８，ＥＰ１７７６９０５，ＷＯ２００７／０９５７７は、ミルクカップの中への漬浸の為の空気－蒸気用ランスを開示する。

【０００９】

ＷＯ２００８／０３４７０８は、同一の使用者のカップの中に流体を配送する為の位置にもたらすことが可能なコーヒー用排出口と蒸気用排出口とを有するコーヒー機を開示するが、コーヒー用排出口は、蒸気用排出口に対して水平に移動可能になっている。

【００１０】

ＵＳ６，２９３，１８７は、蒸気用パイプを開示し、この蒸気用パイプは、中に含まれ

たミルクを泡立たせる為にカップ内に、その排出口を自動的に移動させる為に垂直に変位可能になっている。蒸気用パイプは、排出口を備えた交換可能なノズル部材を有し、それが、ミルクと接触するようになる。

【００１１】

湯及び／又は蒸気発生循環路は、使用中、水から堆積される湯垢を蓄積する傾向にある。この湯垢が除去されないと、循環路は詰まり、これ以上、使えなくなる。そのような循環路を有する機械を、洗浄及び／又は湯垢除去処理により維持することが知られているが、これらの処理の間、洗浄／湯垢除去流体、例えば、湯垢除去処理剤を運ぶ水が循環路を通って循環され、通常、その循環路の排出口の下に置かれるカップ、マグ又は他のサービス用の容器に集められる。

【００１２】

依然として、特に安全なメンテナンス装置を備えた簡単な湯及び／又は蒸気配送装置を提供することが必要である。

【発明の概要】

【００１３】

そのため、本発明は、飲料を調製する為の機械に関する。この機械は、開口を備えた本体と、移動可能な排出口を備える湯及び／又は蒸気発生器とを含む。上記発生器及び排出口は、上記排出口を経て上記湯及び／又は蒸気を配送する為の操作機器構成を有する。

【００１４】

上記本体は、その機械のハウジング又はその一部を形成してもよい。通常、上記機械は、そのような湯及び／又は蒸気を上記発生器の排出口から使用者のカップ又はマグの中に配送する為の湯及び／又は蒸気配送領域を有する。上記カップ又はマグは、普通、上記本体に対して外部にある配送領域内に置かれてもよく、更に／或いは、上記カップ又はマグ内に含まれるミルクを例えば泡立たせる為に、手に持たれ、手動で湯及び／又は蒸気用排出口に対して移動されてもよい。

【００１５】

本発明によると、発生器は、収納機器構成を有し、その中で、発生器の排出口が本体の開口内に移動されて収容される。

【００１６】

このため、上記機械は、移動可能な排出口を当該機械の本体の開口の中に移動させることにより、湯及び／又は蒸気発生器の上記移動可能な排出口を収納、通常は固定する為の簡単な機器構成を有する。したがって、排出口の移動の自由度が減じられ、更に／又は、その排出口を経て配送される如何なる流体も、その開口を経て本体内に閉じ込められる。

【００１７】

そのような収納する機器構成は、その機械又は少なくとも発生器が無効であるとき、例えば、収納されているか、単に飲料調製処理に使用されていないとき、更に／又は、その発生器が洗浄処理、特に湯垢除去処理にあるとき、制御されない流体の発生器の排出口からの射出を防止し、そのような流体を特に上記機械の本体内に閉じ込めるのに適している。

【００１８】

上記本体は、廃液を集める為にリザーバを備えてもよいことになる。リザーバは、発生器の開口を経て配送される流体を集める為に使用されてもよい。そのような流体は、発生器の排出口から配送されてもよく、洗浄処理中は洗浄流体、及び／又は、先の湯及び／又は蒸気配送処理から生じる流滴を含んでもよい。

【００１９】

上記本体は、通常、空にするために、更に／又は、リザーバを洗浄するために、取り外し可能であってもよい。上記機械は、例えば、ヒータ、制御ユニットのような能動的な部品を含む主要本体と、湯及び／又は蒸気発生器の排出口を収容する為の開口を含む取り外し可能な本体のような補助本体とを有してもよい。後者の本体は、機械的に主要な本体に連結されてもよく、例えば、修理の為に使用者により、そこから分離可能であってもよい

。

【００２０】

一実施形態において、発生器の排出口を収容する為の本体により、飲料注出領域の範囲が決まる。上記本体は、使用者のカップ及び／又は使用者のマグを支える為の上面を備えてもよく、その中に湯及び／又は蒸気が配送される。上記本体の上面は、グリッド又は廃液リザーバの中に通じる一つ以上のチャネルのような廃液を排出するための装置により形成されてもよい。このため、本体は、飲料調製機の流滴トレイ装置を形成してもよい。

【００２１】

上記発生器の排出口を収容する為の本体は、そのような飲料調製機から突き出ているプラットフォームを形成してもよい。上記排出口の為の開口は、本体の上面に配置されてもよく、特に、その上面の周辺部に配置されてもよい。プラットフォームの中央部は、その上に使用者のカップ又は使用者のマグを置く為に役立ててもよい。

【００２２】

普通、上記湯及び／又は蒸気発生器は、使用者が移動可能な管を備えてもよく、これが、発生器の排出口を支える。上記管の動作は、その排出口の動作を問題なく引き起こすであろう。上記管は、使用者により手動で、操作機器構成の中に、更に、収納機器構成の中に移動可能であってもよい。上記管の動作は、また、モータを使用することにより、自動的であってもよい。上記管は、収納機器構成内で、ほぼ直立であってもよい。上記管は、縦に移動可能であり、任意で伸縮自在に移動可能であり、管の排出口を収容する為に本体の中に特に縦に移動可能である。上記管は、旋回可能であり、普通、上記機械の本体の外側に或いは上記機械のハウジングに、旋回できるように装着可能である。上記管は、旋回されてもよく、更に／又は、湯及び／又は蒸気を配送する為に、収納位置から、その操作機器構成の中へと縦に移動されてもよい。

【００２３】

上記水及び／又は蒸気発生器は、洗浄構成機器、例えば、湯垢除去機器構成を有し、その中で、発生器の排出口は、本体の開口内に移動され、収容される。そのような湯垢除去機器構成のような洗浄機器構成において、発生器の排出口の位置、存在する時には管の位置は、収納機器構成におけるものと同一でもよい。洗浄機器構成は、通常、湯垢除去流体のような洗浄流体を循環させる為に、発生器の排出口及び本体の開口を経て、発生器から本体の中に配置されている。安全性及び／又は適切な操作を高める為に、上記機械は、発生器の排出口が本体の開口から離れているとき、洗浄（例えば湯垢除去）を防止する為に、配置された（例えばプログラムされた）制御ユニットを含んでもよい。たとえば、上記機械は、発生器の排出口の位置を検出する為のセンサを、少なくとも収納及び／又は洗浄機器構成内に含む。

【００２４】

また、上記制御ユニットは、発生器が洗浄機器構成及び／又は収納機器構成内にあるとき、発生器の排出口を経た湯及び／又は蒸気の配送を含む飲料調製を防止する為に設けられてもよい。

【００２５】

上記飲料調製機は、風味付き原料、特に、風味付き原料を含むカプセルを収容し、風味付き飲料を形成する為に上記風味付き原料を通して水を循環する為のモジュールのような、風味付き飲料調製モジュールを更に備えてもよい。たとえば、上記機械は、コーヒー、ティー又はスープ機である。

【００２６】

上記機械は、調製される飲料の風味付き原料（例えば、挽かれたコーヒー、ティー又はチョコレート又はカカオ又はミルク粉末）を含むカプセルに湯又は冷水或いは他の液体を通すことにより淹出ユニットの内部で飲料を調製する為に配置されてもよい。

【図面の簡単な説明】

【００２７】

以下、本発明に従う飲料機の実施形態を例示する概略図１～図３を参照して、本発明を

説明する。
【図１】図１は、本発明に従う飲料調製機１の実施形態の斜視図を示す。
【図２】図２は、ある機器構成における飲料調製機１の前部の側面図を例示する。
【図３】図３は、図２とは異なる機器構成における飲料調製機１の前部の側面図を例示する。
【詳細な説明】
【００２８】
機械１は、電気コード９を経て、通常は送電線により、電力が供給可能である。
【００２９】
機械１は、ハウジング２により覆われた内部飲料調製モジュールを有する。
【００３０】
飲料調製モジュールは、風味付き原料、特に、カプセル内部で、そのようなモジュール配送された原料のような予め小分けされた原料を保持し、飲料を形成する為に、そこを通って液体を循環する為に配置されている。
【００３１】
液体、例えば、水は、収納され、タンク３から飲料調製モジュールに供給される。飲料は、形成の際、排出口４を経て、注出領域５，４０、例えば、使用者のカップやマグを保持する為の支持体に注出可能である。注出領域は、ルンゴや特別に大きい飲料に対する大きいカップやマグの為に下部の第２のカップ支持体４０に出入りを許す為に、下の排出口４から離れて移動可能な第１のカップ支持体５，例えば、エスプレッソカップの為の支持体を含んでもよい。下のカップ支持体４０は、機械１のベース８に連結されてもよい。適した移動可能なカップ支持体は、例えば、ＥＰ１８６７２６０およびＷＯ２００９／０７４５５７に開示され、その内容は、参考の為に本願に組み込まれる。
【００３２】
また、機械１は、例えば、泡立てられたミルク及び／又はティーの調製の為に、管３０の開口３１を経て、そのような蒸気及び／又は湯を注出する為の蒸気及び／又は湯発生器を含む。
【００３３】
飲料調製モジュールに隣接して、機械１は、たとえばカプセル内部に含まれた、使用済み風味付き原料（例えば、淹出の際のティーや挽かれたコーヒー）の為のコレクタ６を有してもよい。コレクタ６は、飲料調製モジュールの下に置かれ、飲料調製の際、例えば重力によりコレクタ６に排出される使用済みの風味付き原料を集めてもよい。適したコレクタは、例えば、ＷＯ２００９／０７４５５９及びＷＯ２００９／１３５８６９に開示され、これらは、参考の為に本願に組み込まれる。
【００３４】
機械１は、例えばカプセル内部の原料をモジュールの中に装填及び／又はモジュールからそのような原料を排出する為の移送位置と、原料を通して液体を循環する為の循環位置との間を移動可能なハンドル１０を有する。
【００３５】
通常、ハンドル１０は、飲料調製モジュールの、淹出ユニットのような原料チャンバを備えた原料ホルダを、風味付き原料をホルダの中に挿入及び／又はそこからこの原料を排出する為の移送位置（図示せず）から、更に、飲料を形成する為に原料ホルダ内の原料を通じて液体を循環させる為の循環位置から作動させる。通常、原料ホルダ、例えば、淹出ユニットは、相対的に移動可能な２つの部品を有し、これらは、原料ホルダを開く為に移送位置へと遠くに動かされ、循環位置へと原料ホルダを閉じる為に一緒に動かされる。循環位置（図示せず）において、原料ホルダは、しっかりと風味付き原料を囲み、原料を通って液体を適切に案内することを確実にする。
【００３６】
循環位置において、ハンドル１０は、機械１の最上面２ａに載せてあるか、動かずにあってもよい。特にハンドル１０は、ハウジング２と同じ高さでもよい。

【００３７】
図１に示されるように、ハンドル１０は、人間工学的な理由、すなわち、ハンドル１０が移送位置から循環位置まで移動されるとき、使用者の手にとって接触面１２の都合の良い向きによりハンドル１０上に手動で力を加えることを容易にするため、末端１１で僅かに湾曲または曲げられた直線状の棒のように概略形成された単一のアームレバーでもよい。循環位置において、末端１１を備えたハンドル１０は、ハウジング２と同じ高さにあり、ハンドル２は、例えば、ハウジング２の表面の洗浄を容易にするため、対応した形状を有する。

【００３８】
このため、ハンドル１０は、人の手により接触されて駆動されるように駆動部１２が配置され、ハンドルを、例えば、カプセル内に封入された風味付き原料が、例えば通路７を経て飲料調製モジュールの中に挿入される移送位置と、風味付き原料が飲料調製モジュール内に収容されて飲料を形成する為にそこから液体が循環可能な循環位置との間を移動させる。

【００３９】
図１は、移送位置と循環位置の間の中間位置にあるハンドル１０を示す。移送位置において、ハンドル１０は、通路７を全体的にむきだしにし、例えばカプセル内部の風味付き原料を飲料調製モジュールの中に挿入することができる。

【００４０】
通路７は、風味付き原料の重力により飲料調製モジュールの中に挿入する為に配置可能であり、ハンドル１０が移送位置にあるとき、例えばカプセル内部の風味付き原料の通路７への手動挿入と、特に使用者が同じ手を使用できる手動作動ハンドル１０との間の調整を容易にするため、駆動部分１２は、通路７のほぼ上方及び／又は通路７に隣接して置かれている。

【００４１】
さらに、機械１は、飲料調製モジュール内の風味付き原料を通して液体の循環を始める為のユーザーインターフェース２９を含む。

【００４２】
飲料調製モジュールは、通常、以下の構成要素の一つ以上を含む。

【００４３】
ａ）この飲料の風味付き原料、特にカプセル内部に供給された予め小分けされた原料を受ける為の、更に、入ってくる水のような液体の流れを上記原料を通して飲料用排出口４まで案内する為の飲料ユニットのような原料ホルダ、
ｂ）原料ホルダまで供給される上記液体の流れを加熱する為のサーモブロックのようなインラインヒータ、
ｃ）この液体をインラインヒータを通して送る為のポンプ、
ｄ）液体のタンク３のような液体源から、飲料用排出口４まで、この液体を案内する為の一つ以上の流体接続部材、
ｅ）インターフェースを介して使用者からの指示を受ける為の、更に、上記インラインヒータ及び上記ポンプを制御する為の、特に印刷回路基板（ＰＣＢ）を備える電気制御ユニット、

ｆ）上記原料ホルダ、上記インラインヒータ、上記ポンプ、液体リザーバ３，原料コレクタ６，この液体の流れ、この液体の圧力、この液体の温度の特定から選択された少なくとも一つの操作上の特性を感知する為の、更に、そのような特性を上記制御ユニットに通信する為の一つ以上の電気センサ
ヒータは、サーモブロック又はオン・デマンドヒータ（ＯＤＨ）、例えば、ＥＰ１２５３８４４、ＥＰ１３８０２４３，ＥＰ１８０９１５１に開示されたＯＤＨ型でもよい。適した飲料ユニット及びカプセル管理の実施例は、例えば、ＷＯ２００５／００４６８３、ＷＯ２００７／１３５１３６、ＷＯ２００９／０４３６３０に開示されており、これらは

、本願に参考の為に組み込まれる。適した飲料調製モジュールは、例えばＷＯ２００９／０７４５５０、ＷＯ２００９／１３００９９に開示されており、これらは、本願に参考の為に組み込まれる。

【００４４】

ハンドル１０とユーザーインターフェース２０は、図２に例示されているように、ハンドル１０を循環位置へと駆動する際、ハンドル１０の駆動部１２に人の手がまだ接触している間に、その手によりユーザーインターフェース２０を操作できるように配置可能である。

【００４５】

たとえば、駆動部１２は、人差し指、中指、薬指、小指のうちの一つ以上により接触され作動可能であり、ユーザーインターフェース２０は、一本の指及び／又は複数の指がハンドル１０に触れている間、例えば、ハンドル１０を、その循環位置へと移動させた後、ハンドル１０から手を離して移動させることなく、手の指により操作可能である。便利のため、駆動部１２は、手で駆動される為に特に適合された断面形状又は表面を有してもよく、例えば、駆動部１２の表面は、表面構造又は構成物のような手段、特に手に摩擦を与えるアンチスキッド表面を含んでもよい。

【００４６】

駆動部１２は、ハンドル１０を駆動する為に人の手により押されるように配置可能である。ユーザーインターフェース２０は、ハンドル１０を循環位置へと駆動する際、手がまだ駆動位置に対して押しつける位置にある間、同じ手により操作可能である。

【００４７】

ユーザーインターフェース２０は、異なる風味及び／又は異なる大きさ及び／又は異なる種類の飲料の調整を始める為に複数のユーザーセレクタを含んでもよい。たとえば、エスプレッソコーヒーの注出及びルンゴコーヒーの注出の選択の為に、例えばプッシュボタン形式で、ユーザーインターフェース２０は、第１ユーザーセレクタと第２ユーザーセレクタとを含む。

【００４８】

図１から図３に例示された機械１は、前面２ｂを有し、前面２ｂは飲料を配送する為に排出口４を支え、ユーザーインターフェース２０は、前面２ｂ上又は前面２ｂに隣接して置かれている。特に、ユーザーインターフェース２０は、ハンドルの循環位置に達する際、まだハンドル１０上の駆動部１２上の位置にある間、使用者の手により簡単にアクセス可能になるように駆動部１２の下に置かれる。たとえば、ハンドル１０が循環位置にあるとき、ユーザーインターフェース２０は、２～４ｃｍの範囲の距離で、駆動部１２から離れて配置されている。

【００４９】

駆動部１２は、ハンドル１０を駆動する間、作用する人の手に対し、ハンドル１０に最小対向力の一部を形成してもよい。たとえば、ハンドル１０は、その第１端部で旋回するように配置され、駆動部１２は、ハンドル１０の反対側の端部に置かれるので、レバーアームは、最大にされ、当該システムの対向力を克服するのに必要な手の力が最小になる。

【００５０】

以下、図１～図３に例示された機械１の特定の実施形態を、特に、その湯及び／又は蒸気発生装置に重みをおいて説明する。

【００５１】

前述したように、機械１は、本体４０を含むが、本体４０は、この特定の実施形態において、カップ支持体を形成し、カップ支持体は、開口４１を有する。

【００５２】

本体４０は、機械１から突き出たプラットフォームを形成する。本体４０は、機械１の足部８に機械的に連結されている。この本体は、この足部及び／又は上記機械のハウジング２と一体であってもよく、或いは、常に固定されてもよい。この種の突き出た本体の実施例は、ＷＯ２００９／０７４５５０に例示され、その内容は、参考の為に本願に組み込

まれる。
【００５３】
湯及び／又は蒸気発生器は、移動可能な排出口３１を備える。その排出口を備えた発生器は、例えばカップ支持体を形成する本体４０に置かれた湯及び／又は蒸気の使用者カップ及び／又は使用者マグ（図示せず）の中への配送の為に操作機器構成を有する。
【００５４】
本発明によると、発生器は、収納機器構成を有し、図３に例示されるように、その中で、発生器の排出口３１が本体４０の開口４１の中に動かされて収容される。
【００５５】
排出口３１の為の開口４１は、本体４０の上面４２、特に、上面の周辺部に、或いは上面に隣接して、置かれてもよい。
【００５６】
本体４０は、通常、廃液を集める為のリザーバを含み、或いはそれを形成する。このため、例えば湯及び／又は蒸気配送後に、排出口３１からの流滴を本体４０に集めることができる。本体４０は、特に、リザーバを空にする為に、或いは／又はリザーバを洗浄する為に、取り外し可能であってもよい。
【００５７】
好ましい実施形態において、水及び／又は蒸気発生器は、湯垢除去機器構成のような洗浄機器構成を有し、その中で、発生器の排出口３１は、本体４０の開口４１の中に動かされて収容される。
【００５８】
機械１は、制御ユニットを有してもよく、制御ユニットは、発生器の排出口３１が本体４０の開口４１から離れているとき、湯垢除去のような洗浄を防止するように配置される。
【００５９】
本体４０により、飲料注出領域の範囲が決まる。
【００６０】
図１～図３に例示されるように、飲料用排出口４は、本体４０のほぼ直立して上方に置かれている。このため、使用者のカップ又はマグ（図示せず）は、排出口４を経て注出される飲料を集める為に本体４０の上面４２に配置可能である。
【００６１】
例えばＥＰ１８６７２６０に開示され、その内容が本願に参考の為に組み込まれるように、これらの図に例示された特定の実施形態において、支持体５は、排出口４の下にカップやマグを置く前に排出口４の下から支持体５を移動させるべきである。
【００６２】
上面４２は、排出口３１から流体を集め、更に、無駄になる滴下を排出口４から集める為に、リザーバの上方に置かれたグリッドにより形成される。このため、上面４２は、特に、このグリッド内の装置により形成され、例えば面４２の下に置かれた廃液リザーバの中に廃液を排出する。
【００６３】
図１～図３に例示された実施形態において、湯及び／又は蒸気発生器は、その末端で排出口３１を支える、使用者が移動可能な管３１を含む。管３１は、使用者により手動で操作機器構成の中に、更に、収納機器構成の中に移動可能である。管３０は、収納機器構成内でほぼ直立されてもよい。
【００６４】
管３０は、縦に移動可能である。特に、管３０は、上流区間３２と下流区間３３とを含み、これらは、伸縮自在に配置されるので、下流区間３３は上流区間３２に関して縦に移動可能である。下流区間３３は、スリーブ３４を有し、スリーブ３４は、管３０の長さを調整する為に上流区間３２にわたり摺動するように配置される。下流区間３３は、スリーブ３４の反対側で排出口３１を支える。

【００６５】
　さらに、管３０は、旋回できるように機械１に装着されている。特に、区間３２は、ほぼ水平軸３５の周りに回転できるように装着され、もって、排出口３１は、本体４０から外側に離れて旋回可能であり、蒸気又は湯は、機械１の側部で保持された（例えば手で保持された）カップやマグの中に通される。あるいは、蒸気又は湯用管は、旋回可能に形成可能であり、別の方法で、蒸気又は湯を支持体５又は本体４０に置かれたカップやマグの中に通す為に本体４０の上方で内側に移動可能である。
【符号の説明】
【００６６】
１　飲料調製機
２　ハウジング
２ａ　最上面
２ｂ　前面
３　タンク、液体リザーバ
４　飲料用排出口
５，　カップ支持体、注出領域
６，　原料コレクタ
７　通路
８　ベース、足部
９　電気コード
１０　手動作動ハンドル
１１　末端
１２　接触面、駆動部、駆動部分
２０　ユーザーインターフェース
２９　ユーザーインターフェース
３０　管
３１　排出口
３２　上流区間
３３　下流区間
３４　スリーブ
３５　水平軸
４０　カップ支持体
４１　開口
４２　上面

【図１】

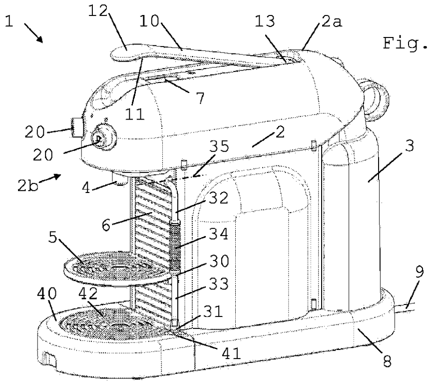


Fig. 1

【図２】

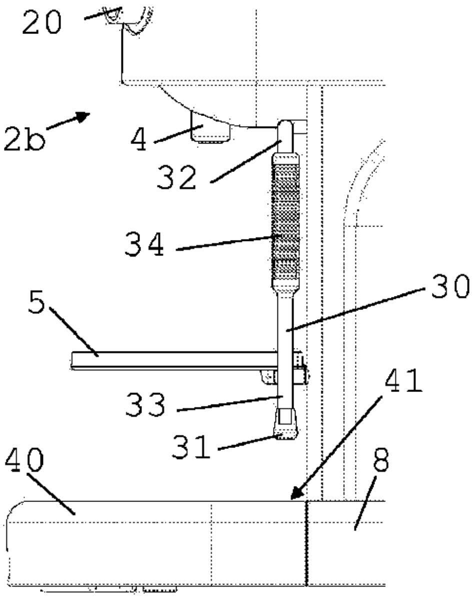


Fig. 2

【図３】

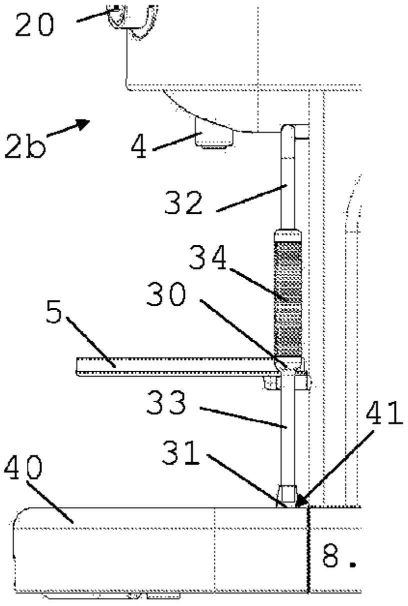


Fig. 3

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No
PCT/EP2011/058225

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER
INV. A47J31/44
ADD.

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)
A47J

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practical, search terms used)

EPO-Internal, PAJ, WPI Data

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	FR 2 929 091 A1 (SEB SA [FR]) 2 October 2009 (2009-10-02) page 5, line 32 - page 21, line 16; figures	1-6,8-15
X	FR 2 879 426 A1 (SEB SA [FR]) 23 June 2006 (2006-06-23) page 5, line 22 - page 15, line 35; figures	1,3, 8-11,15
A	EP 2 080 458 A1 (BSH BOSCH SIEMENS HAUSGERAETE [DE]) 22 July 2009 (2009-07-22) paragraphs [0023] - [0031]; figures	1-15
A	EP 2 163 176 A1 (SEB SA [FR]) 17 March 2010 (2010-03-17) paragraphs [0008] - [0029]; figures	1-15

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☒ See patent family annex.

* Special categories of cited documents :

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier document but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art.

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search	Date of mailing of the international search report
14 July 2011	21/07/2011

Name and mailing address of the ISA/	Authorized officer
European Patent Office, P.B. 5818 Patentlaan 2 NL - 2280 HV Rijswijk Tel. (+31-70) 340-2040, Fax: (+31-70) 340-3016	De Terlizzi, Marino

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

Information on patent family members

International application No
PCT/EP2011/058225

Patent document cited in search report	Publication date	Patent family member(s)	Publication date
FR 2929091 A1	02-10-2009	CA 2718827 A1	08-10-2009
		CN 101980636 A	23-02-2011
		EP 2257207 A1	08-12-2010
		WO 2009122038 A1	08-10-2009
		US 2011017073 A1	27-01-2011
FR 2879426 A1	23-06-2006	AT 424132 T	15-03-2009
		EP 1833339 A1	19-09-2007
		WO 2006067313 A1	29-06-2006
		US 2009301310 A1	10-12-2009
EP 2080458 A1	22-07-2009	DE 102008005361 A1	23-07-2009
EP 2163176 A1	17-03-2010	FR 2935881 A1	19-03-2010

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW,GH,GM,KE,LR,LS,MW,MZ,NA,SD,SL,SZ,TZ,UG,ZM,ZW),EA(AM,AZ,BY,KG,KZ,MD,RU,TJ,TM),EP(AL,AT,BE,BG,CH,CY,CZ,DE,DK,EE,ES,FI,FR,GB,GR,HR,HU,IE,IS,IT,LT,LU,LV,MC,MK,MT,NL,NO,PL,PT,RO,RS,SE,SI,SK,SM,TR),OA(BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GQ,GW,ML,MR,NE,SN,TD,TG),AE,AG,AL,AM,AO,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BH,BR,BW,BY,BZ,CA,CH,CL,CN,CO,CR,CU,CZ,DE,DK,DM,DO,DZ,EC,EE,EG,ES,FI,GB,GD,GE,GH,GM,GT,HN,HR,HU,ID,IL,IN,IS,JP,KE,KG,KM,KN,KP,KR,KZ,LA,LC,LK,LR,LS,LT,LU,LY,MA,MD,ME,MG,MK,MN,MW,MX,MY,MZ,NA,NG,NI,NO,NZ,OM,PE,PG,PH,PL,PT,RO,RS,RU,SC,SD,SE,SG,SK,SL,SM,ST,SV,SY,TH,TJ,TM,TN,TR,TT,TZ,UA,UG,US,UZ,VC,VN,ZA,ZM,ZW

(72)発明者 トゥルキ, ダニエル
スイス, シーエイチ−１０９４ ポーデクス, ラ フォンテーヌ ３
(72)発明者 カアン, アントワーヌ
スイス, シーエイチ−１００５ ローザンヌ, ピーエル. ドゥ ノール ２, レ アトリエーズ ドゥ ノール

Ｆターム(参考) 4B104 AA20 AA27 BA15 BA18 BA21 BA23 BA29 BA68 BA71 BA73
BA81 EA01 EA17 EA18 EA28 EA29